

シルバーとよなか

ふれあい

2005年8月

社団法人 豊中市シルバー人材センター

No.40

ご あ い さ つ



理事長
清水 和男

本日は、平成十七年度社団法人豊中市シルバー人材センターの通常総会を開催いたしましたところ、市長さんをはじめ、ご来賓の皆様方には時節から誠に多用にもかかわらず、ご臨席いただき、心からお礼申し上げます。また、会員の皆さんには、大変お忙しい中、この様に多くのご参加をいただき、誠にありがとうございます。

さて、昨今の景気動向ですが、全国の企業倒産件数、有効求人倍数や負債総額等は改善されているものの、微妙で重要



豊中市長
一色 貞輝

豊中市シルバー人材センターの平成十七年度通常総会が開催されましたことを、心からお慶び申し上げます。

平素皆様方には、本市の高齢者福祉の増進に格別のご支援・ご協力を賜わり厚くお礼を申し上げます。

豊中市シルバー人材センターは、高齢者の就業と生きがいの場として設立されて以

な分岐点であるように思われます。新聞紙上では大手企業を始めとする設備投資の増加や中国経済への進出拡大など、好調な面が取り上げられています。しかし、国内では戦闘が続き、治安回復までには、まだ長い時間と労力が必要であり、また北朝鮮の拉致問題は解決の道筋が閉ざされた状態であり、不誠実な対応が続くばかりでなく、核開発を進め、核保有を宣言する事態となっております。このような不安定要素があり、私どもを取り巻く生活環境においては、いまだに好景気感を実感として乏しいものがあり、雇用や所得の不安から消費も停滞状態にあると思われま

す。また、昨年は台風二十三号、新潟県中越地震、福岡県西方沖地震やスマトラ沖地震による津波で甚大な被害が国内外で発生しました。被災者の一日も早い復興をお祈りいたします。このような

来、順調に発展をされ、就業率、事業実績とも、着実な成果をあげてこられました。これもひとえに清水理事長さんをはじめ、役員の方々並びに会員の皆様方のたゆまぬご努力の賜物であり、深く敬意を表する次第であります。

さて、本市の六十五歳以上の人口は本年四月一日現在で約六万九千人で、高齢化率は十七・七％となっております。今後益々高齢化率が伸びていく中で、皆様方のお元気でこれまで培ってこられた豊かな経験と能力を生かされ、積極的に社会参加をされますことは活力ある地域社会づくりをめざしております本市にとりまして、誠に心強い限りであります。

ところで高齢者の中には「私は別に長

なか、被災者でも高齢者の生活支援に關連し、年金問題も連日大きく取り上げられ、成り行きによっては、多くの方々が老後の生活に一抹の不安を抱く結果となりま

す。このような状況のなかですが、当センターの平成十六年度の事業実績を見ますと、会員数は千七百七十人、就業率は七五・二％、契約高では六億七千万円を超え、平成十六年度実績から二・八％上回る実績を上げることができました。

これはひとえに、会員の皆様のご努力と豊中市を初め、関係行政機関、ご団体様並びに多くのお客様のご支援の賜物と深く感謝いたしているところでございます。

ご承知のように、今後さらに高齢化が進むなかで、シルバー人材センターとして取り組む課題も多く、国では団塊の世代がシルバー世代になる時期を目前

生きをしたいとは思わない」という方もおられると思いますが、しかし生きていく限り元気でいたいと思わない方はないのではないのでしょうか。

さて、昨年NHKスペシャルで「老化に挑む」という番組が二回にわたって放送されておりましたが、私は先日、その番組をもとに書かれた老化に挑む、よみがえる脳・延びる寿命の本を読みました。

その本には、「元気に長生きするために何が必要か」ということや「生きがい」の大切さなど、いかに健康を保ちながら天命をまっとうできるかということが書かれており、私も色々勉強させて頂きました。その中の一つに、最新の科学研究が明らかにした長寿の秘訣がありましたので

にしまして、昨年、高齢法の改正がなされ、一部一般労働派遣事業が認められ、シルバー人材センターの新たな役割として「雇用と年金との接続を目指しながら、高齢者の多様な働き方に応じた就業機会、仕事場の確保を目指すもの」となっております。

シルバー人材センターとしても、こう言った「新たな時代の要請」にいかに対応していくか、その役割と責任は誠に大きなものがありますが、本年度も引き続き、社会のニーズに応えるとともに、会員の皆様に喜んでいただけるよう、事業運営の強化と会員の皆さんの多様な就業意欲に応えられるよう、就業機会の拡大に向け努力してまいります。

本日の総会には、平成十七年度の事業計画等、重要な議案を提出いたしておりますので、十分ご審議を賜わり、実りある総会にいたしましたかと存じます。

紹介をさせていただきます。

「ごき使え頭脳と身体いつまでも体重維持も忘れるな」ということだそうです。

非常に簡単な結論であります。言うは易く、行つは難いと思ひます。

今後、超高齢化社会を迎えるにあたり、高齢者の方が自身の狭い思いをすることなく、老いを楽しみながら生き生きと暮らしている社会の実現に向けて、市民の皆様と協働し、まちづくりを進めて参りたいと存じますので一層のご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

終わりに、豊中市シルバー人材センターの今後益々のご発展と、会員の皆様方のご健勝とご多幸を心から祈念申し上げます。ご挨拶と致します。



豊中市議会議長
前田 雄治

社団法人豊中市シルバー人材センター平成十七年度通常総会の開催にあたり、市議会を代表して一言ご挨拶を申し上げます。

皆様方には平素から、市議会活

動に対し、あたたかいご理解とご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

わが国は少子高齢化の急速な進展に伴い、世界でも類を見ない超高齢社会の到来を目前に控え、高齢者の自立や健康で生きがいをもって暮らせる社会のしくみづくりが急務となっております。

また、経済情勢に目を向けますと、依然厳しい雇用情勢が続く中、高齢者を取り巻く雇用環境は極めて厳しく、就業に必要な技能や資

格の取得など、就労者の意識改革や普及啓発がますます重要となつてきております。

そうした中、シルバー人材センターにおかれましては、自主・自立・協働・共助の精神に基づき、高齢者の自立や就業支援に幅広い活動を展開され、当市の高齢者の生きがいづくりや雇用創出に多大なご貢献をいただいております、心から敬意を表しますとともに感謝を申し上げます次第です。

市議会といたしましても、市理

平成17年度 通常総会成功裡に 終わる

平成十七年度（二〇〇五年度）の通常総会は五月三十一日（火）アクア文化ホールで開催しました。今年も多くのボランティア会員（看板製作、受付、会場整理、写真撮影等）の協力を得て、会員中心の総会が実現できました。

第一部では、「災害に備える」をテーマに豊中市総務部危機管理室長の梅田幸治氏による講演がありました。

第二部総会は、事務局の司会で進み、理事長挨拶のあと、一色貞輝豊中市長さん、前田雄治豊中市議会議長さんから超高齢社会のなかで会員の皆さんが健康に留意され、シルバー人材センター事業を進展させていくことは、会員の皆さんの生きがい

の一つとして、また活力ある地域社会作りへの貢献も大きいと暖かい励ましの祝辞をいただきました。引き続き議長の選出に移り、議長に第十五班原健一さんが出席者全員の承認を得て、選出されました。本年度の総会構成会員数千七百七十七名に対し、出席会員九百七十七名（うち委任状六百六十七名）で定款に基づき総会設立を宣言。議事録署名人に第三班羽生恵光さん、第十三班梶浦武彦さんが指名され、議事に入りました。議案第一号は、沖田邦宏さんの役員選任（補充）について、事務局から説明がなされ、全員異議なく承認された。

次に、議案第二号平成十六年度事業報告、議案第三号平成十六年度収支決算報告が一括して説明され、監事を代表して第十五班村田嘉康さんから監査報告が行われ、質疑応答に入った。公共関係の発注量の減少について、就業説明会の回数の増加希望等の質問があり、事務局から豊中市の財政面の逼迫状況の影響、需要と供給のアンバランス等について説明し、センター事

業をより発展させるため、積極的な営業展開を図り、就業機会の拡大に努めたいと説明し了承を求めた。議長から議案第二号、議案第三号について賛否を問ったところ、全員異議なく原案とおり承認された。

続いて議案第四号平成十七年度事業計画案、議案第五号平成十七年度収支予算案が提案説明され、質疑応答に入った。箕面市、吹田市と豊中市からの発注量や高齢者人口に対するセンターへの入会率等について質問と職種ごとやグループごとで会員自らが営業活動を展開し就業機会の拡大につなげていることの報告があった。事務局から各自治体のシルバー人材センター事業への取り組み方の違いを説明し、了承を求め、事業の更なる発展のためには、会員増強、就業機会の拡大に努力してまいりたいと説明し、了承を求めた。議長から議案第四号、議案第五号について賛否を問ったところ、全員異議なく原案とおり承認された。

議長から平成十七年度通常総会の議事

事者と連携を取りながら、大変厳しい行財政状況の中ではありますが、健康で心ゆたかな福祉のまちづくりをめざし、努力をしておりますので、皆様方におかれましてもさらなるご協力を賜りますようお願い申し上げます。

最後に、社団法人豊中市シルバー人材センターの今後ますますのご発展と、本日ご参会の皆様方のご健勝とご多幸を祈念申し上げます。ご挨拶とさせていただきます。

は全て終了した旨を伝える退任の挨拶があり降壇しました。

超高齢社会のなかで、シルバー人材センター事業の果たす役割は重要であり、財政面が厳しいなかで、豊中市から引き続きセンター事業を積極的に支援していただくためにも、安全就業の徹底を図るとともに、事業実績を上げ、就業率のアップも目指したいと思えます。

今後、高齢者を取り巻く厳しい社会情勢（雇用情勢・税制面等）のなか、センター事業を拡大・発展させるためには、公共機関との連携をさらに強化し、情報の共有化をさらに推し進める必要があります。また、今年度の事業計画に基づき、会員の皆さんの満足度を上げ、社会のニーズにも応えるため、会員の皆さんの「声」等も事業に反映し、引き続き改革・改善に取り組みます。これからも会員の皆さんは健康に留意され、センターの基本理念「自主・自立・共働・共助」で事業を進めていただきたいと思えます。



シルバー人材センター事業をさらに発展させるための留意事項

1 シルバー人材センター事業の基本的な仕組み

シルバー人材センター事業は、臨時的かつ短期的又はその他の軽易な業務に係る就業を希望する高齢者を会員とし、地域社会に密着した一般の職業紹介にはなじみがない仕事を請負又は委任により引き受け、これを会員に提供し、仕事の内容と就業の実績に応じて報酬を支払うことを内容とする高齢者の多様な就業形態に対応した労働力の需給システムであり、労働者の職業生活からの引退課程を出来る限り円滑に移行させることを

目的としていること。
また、会員は、本来臨時的かつ短期的又はその他の軽易な業務に係る就業を希望している者であること。



これらのことを総合的に勘案した場合、シルバー人材センターは、受注した仕事に対し特定の会員を特定業務に長期間、継続して就業させることなく、できるだけ多くの会員がその能力と希望に合った公平な就業の機会が得られるよう、十分な配慮を行うことが必要であること。

2 仕事を提供する場合の留意事項

(1) ローターションシステムによる公平なワークシェアリングの実施

シルバー人材センターが会員に対して公平な就業機会の提供を行い、シルバー人材センター事業の趣旨・目的に沿った適正な事業運営を行うためには、会員の希望職種や住所に応じてグループ化を図ることが必要である。そのうえで、仕事を受注した際には、



(2) 会員に対する周知及び研修
新規入会希望者に対しては、シルバー人材センター事業の基本理念や目的を周知するための説明会を行うとともに、可能な限り、個々の高齢者との面談を行い経歴、有する技能、希望職種等について詳細に把握したうえで、当該会員の能力に応じた適切な職種別・地域別グループに所属するよう勧奨すること。

また、既入会会員であるグループのリーダー等を対象とし、事業の運営上必要な事項についての研修会を実施するなど、改めてワークシェアリングの必要性や手法等についての啓発を行うこと。

(3) 特別な技能等を必要とする場合の留意点
業務の内容が特別の技能・資格を必要とする場合がある

ことにかんがみ、このような業務への就業希望者であって講習等を希望する者に対しては、できる限り公平かつ適正な講習等の機会を与えるように留意すること。



(4) 契約情報等の開示

シルバー人材センターは、会員が公平な就業機会を得るために、会員に対して様々な情報を可能な限り開示する必要がある。そのため、シルバー人材センターは、請負・委任に係る契約情報、職種別・地域別グループの組織化状況及び会員の就業情報といった情報（会員個人を特定できる情報以外の情報など個人のプライバシーを侵害しない範囲に限る。）については、様々な手段を工夫して会員に開示するよう努めるべきであること。

3 安全・適正就業の徹底

(1) シルバー人材センター事業の仕組みの周知徹底
シルバー人材センター等の基本的な仕組み（請負・委任



(6) 巡回指導の徹底
特に事業所での就業につい

(5) 無料職業紹介の実施
事業所からの発注で、請負・委任にならないものは無料職業紹介への切り替えを行う。

(4) 従業者との混在作業等の是正
事業所からの発注で、ライン作業等により当該事業所の従業者と混在して作業を行うものは実態として雇用関係と解されるので、請負・委任としては受注しない。

(3) 長期就業の是正
事業所における単独による長期就業は、雇用形態になりがちであるので避けることとし、ローテーション就業等で対応する。

(2) 危険・有害な作業の峻別
危険、有害な作業等で高齢者にふさわしくないと判断される作業は受注しない。

と雇用との関係、関連諸法規・通達とシルバー人材センター等との関係等）について、会員、会員の家族、発注者、地域住民等に周知徹底する。

ては、巡回によって就業実態を随時把握し、雇用性の高いものについては是正する。

(7) 契約事務の是正
事務所からの仕事を受注するにあたって、受注票のみ、あるいは口頭のみで契約を成立させることは、請負・委任と雇用との判断があいまいになることに加え、トラブルの発生時などにシルバー人材センター等が対抗するための最低限の根拠を欠くこととなる。そのことにより、シルバー人材センター等が損害賠償責任あるいは社会的・道義的責任を問われることもなるので、契約書類は必ず作成する。

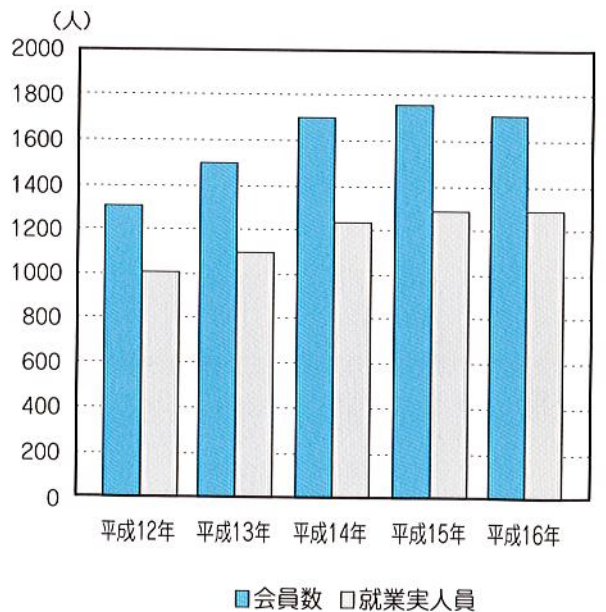
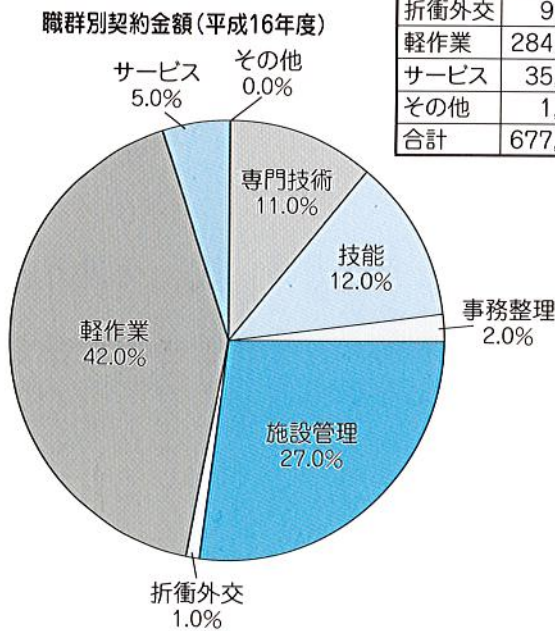
(8) 誤解を招く用語の禁止
請負・委任による就業機会の提供に関する契約書等においては、「賃金」「勤務」「通勤」「派遣」「出向」「時給」「日給」「給与」「手当」「賞与」「雑役」「雑務」等の用語が使用されることはないと考えられる。このような用語が使用される内容の契約は、雇用関係下での労働であると解されるものであるので、請負・委任の契約に沿った適切な用語以外は使用しないこと。

職群別契約金額(平成16年度)

	平成16年(円)
専門技術	71,279,183
技能	83,868,841
事務整理	11,106,998
施設管理	181,008,199
折衝外交	9,641,108
軽作業	284,027,047
サービス	35,097,142
その他	1,457,870
合計	677,486,388

年度別会員推移

	平成12年度	平成13年度	平成14年度	平成15年度	平成16年度
会員数(人)	1,299	1,491	1,696	1,754	1,707
就業実人員(人)	1,004	1,093	1,229	1,281	1,284



会員の ひるば



季節を感じながら



第4班

徳永美恵子
雨上がりに
アツサイが淡
いピンク、プ

ルーと鮮やかな色を覗かせている。そして新緑も色濃く輝いている。気がつくとお向かいの屋根に新しい鯉のぼりがゆうゆうと泳いでいる。よくみると竿には吹き流しとお父さん鯉、お母さん鯉、一番下に赤ちゃん鯉が仲よく泳ぎ、時々風を受けた矢車の音がカラカラと快い音を立てる。

私は思わず「高く泳ぐや鯉のぼり」と大昔の小学唱歌を気持ちよく歌っていた。

さて、今年の連休は日数がたっぷりあって十分な休養がとれ、家族そろってのお出掛けも嬉しかった事と思う。思い出のアルバムも出来、それぞれの話題が賑やかに優しい心になれたと思う。

気がつけば今月は一年の折り返し点である。

先日友人との会話で彼女が「くずくずしてたらすぐお盆ね。早い

な」と真剣な一人言!!

私もつい合槌打って「食へ過ぎが悩みの食欲の秋かな」と言っていて、そこで大笑いした。

ところで平成二年に入会した私も会員人生十五年。名簿の中からも昭和一桁生まれが少なくなつた。頑張り屋の昭和一桁は貴重な宝物だ。昭和は遠くなりけり。淋しい。何かの本に「自分で自分が年をとったと思わないこと。自分を年寄りにしたらおしまい。前途に希望をかけ、何か打ち込む楽しみや娯楽を持って」と書いてあった。

私は現在地域班第四班で十名の会員さんをお世話させて頂いている。服部寿町周辺が主で、最初の頃は三十軒ほどのお宅だったが、今では十件ほどになった。

「子供と同居になりました」とご挨拶される会員が目立ち、今さらに独居老人の環境の変わり方が早いのに驚く。皆さんとはお付き合ひも長い。明るい方ばかりなので、私は月一回のポストマンに満足して感謝の心で一杯だ。時々スーパーで会員の方にお会いすると「ご苦労様ですネ」声をかけて下さりとても嬉しい。

私も「何かお困りだったたりお仕事に不愉快な点が見つかったら私にお知らせ下さい。お電話でもいいですよ。もし事務局に聞いてほしくて悩んでおられたら、その方法でも良いと思います。何かの御縁で会員の一人ですよ。とにかくお体を大事に。特に考え事は事故の

元ですから」と言いながら、あとになって思うことは、自分自身が一番上なのにと苦笑いすることが多い。世の中は想像も出来ない事件が増えている。

一期一会を大切に。

配達係志願



第5班

平田 彰
八年前にシル
バー人材セ
ンターに入会

した当時、「事務局だより」を「郵便」で受け取ったことがありました。僕が所属する班に会員が何人いるのかわからないけれど事務局だよりを受け取るのに「切手代」は勿体ないなと感じました。(但し、現在は、地域委員が欠員の場合は、郵便を利用したり、事務局職員が直接配達しています) そのように思っていましたので、ある日事務局に寄った時、そのことを思いだして、「事務局だよりの配達くらいのご事は僕がしますよ」と申し出ました。地域委員というものがあることも知らずにいたのですが、このことがきっかけで地域委員の依頼があり、少しでも役立つのならと思い拝命しました。以来七年くらいになります。現在二十七名の会員のお世話をしています。お世話というほどのことではなく「事務局だより」等を配達するだけのことです。配達すると

きも会員の方をお見かけしたら挨拶しますがわざわざ呼び出して手渡しするようなことはしていません。(自分だったら特別な用事もないのに呼び出されるのは厭と思っからです) その代わりに、年に二回挨拶状を書いて同封し、ご意見、ご要望を寄せていただくようお願いしています。それでも毎月一回配達してまわっていると玄関先で会員ご本人や配偶者にお会いして言葉を交わすこともありますし、普段でも道でお会いして挨拶を交わすこともあります。この間もある方から「高齢になってきたのでこの度退会いたしました。長い間お世話になって」と退会の挨拶状を頂き恐縮した次第です。書簡ではなく電話で退会のご挨拶をいただいた方もおられます。誠に行き届いた会員がおられると感心し、僕も見習わねばと思っております。

シルバー人材センターで書道同好会にも入っています。毎月二回の同好会ですが、お陰で徐々ながら腕もあがり、宛名書きの仕事を受けることができるようになりました。趣味が実利に結びついたというわけです。同好会活動を通じて多くの仲間と親しくなれたことが何よりの収穫です。仕事上の付き合いだけでは得られない人間関係ができて、シルバー人材センターに入会してよかったと感謝しています。

挑 戦



第6班

梶田 優

私のモッ

トーは、毎日
漠然と過ごす

のではなく、常に緊張感有る日常の生活が、目的である。

六十二歳で定年退職を迎え、さてこれからの人生の進路はと、思ひあぐんだ。

ふと目にした「とよなか」広報誌の欄に「社団法人豊中シルバ人材センター」会員活動の状況が有り、思い切つて入会を申し込んだ。まず緑道の清掃作業に応募して久しぶりの汗を流した。

次に人材センターの紹介で、住居近くの、某町工場の機械加工に挑戦した。何分にも初めての体験で懸命に頑張り戦力の一員になれた頃、不況のおおりに受けて、約四年間で失業となった。

そんな折人材センターの斡旋で「社団法人大阪府警備協会」「セーフティサポート隊」生活安全指導員の推薦があった。

あの忌むしい付属池田小学校の事件を思うと何か自分が、社会に貢献出来る事は無いかと思つていた矢先だった。

四日間の教育センターで、新任警備員教育を受け、最終日に全員制服を着用して直立不動の姿勢をとつた時、身の引き締まる思いがした。

任務は第三方面豊中南署管内豊中市立小学校十三校の、児童達の登下校の警備と、管内ひつたくり防止のパトロールである。

初めての日、通用門での警備の時元氣な朝の挨拶を児童達に声をかけたが、反応が悪い何故だろう、そつた「スマイル」だ初めての体験で堅くなつていたのだろう。

当校の警備が終末頃には明るい元氣な声が返つてきた。

管内パトロール中多くの人達から激励の言葉を受けた時、最高に嬉しかった。

冷たい雨が降りしきる校門警備の時、先生が通用門迄熱いお茶を持ってこられて労いの言葉をかけられた時、真実この任務のやりがいを感じた。

辛かった事は、寒風吹きすさぶ通用門の警備の時、横なぐりの冷たい雨が降る夜のパトロールの時、芯の底迄冷えきつた。

この任務が、無事故で達成出来た事は、我が人生の最高の思い出となつた。

今は半年間休養した体に、気合を入れて、千里の里迄「MYCYCLE」で四十分駆けて、新緑薫るマンションの庭園整備作業に励んでいます。

それに会員の皆さんが待つておられる毎月の「事務局だより」の配布と「ハイキング同好会」に出来る限り、参加して心身共にこれからの人生を色々挑戦して楽しみたいと思つています。



第14班

西奥 晴夫

会員の皆様

暑中お見舞い
申し上げます。

私、昨夏猛暑の盛りにチラシ配布グループに加入させて頂きました。それ迄の週休七日制が週休零日となり、生来痩身なのに僅か半月の間に5kg体重激減。新たなフラストレーションも生じ先行きを案じました。然し今日では体重は恢復せずとも体調は良好です。顧みれば人格者のリーダーはじめ好人物の仲間を支えられたお蔭と深く感謝致して居ります。

徒に馬鹿を重ねるのみの凡夫にとつて経験をして初めて知つたり分つたりする事がなんと多いことか、人固死ぬ迄勉強。先達の言辭に改めて感じ居る次第です。

チラシ配布。一見単純作業の様ですがクライアントの意向、ポスティングのスキルやタイミング等を配慮したり努力工夫が求められるでしょう。IT全盛の今日でも原始的な手法と言えるチラシ配布は健在。たかゞチラシされどチラシ。益々の発展を期待します。その為にはいろいろと勉強せねば...

扱毎日街を歩いて得た雑感を列挙しましょう。

私達に対し概ね友好的なのはオバチャン達。女は愛敬。反対にオッチャン達は敵対的。鏡に映る自分では？。要自戒。困つたり怖かつたり、対象は羨

の悪い犬ども。犬よりも飼いの主の調教が先決か、若し噛みつかれたら個人的には大事件。歩行者には幼児も多い、PTSD(心的外傷後ストレス障害)発症の虞あり。世の愛犬家よ犬の先祖は野獣狼、飼いに手を噛まれる、等を肝に銘じて欲しい。吠えるのは一回限ONEワン。

人口四十万に喞々とする都会豊中市に未だ田舎が存在。癒やされます。宮山つつじ園(宮山町)、コバノミツバツツジ(ミヤマツツジ)、素朴で可憐。江戸時代、阿部損津守が植栽に尽力した由、此処は豊中五勝のひとつ。

ヒメ堂。陸性の堂。6月の夜に光ります。棲息地は春日町の竹藪(千里川右岸)。以上自然発見。

人工の物では市公館(東豊中町)、初めて観ました。立派なハコモノです。庶民には無縁のもの？。

終節に私達の会の将来は？。どう変わるのでしょうか。どうあるべきでしょうか。脱輻氣隠居、所謂団塊の世代の入会、貧富の二極化、配布の法的整合性等々課題は山積、競合増大し多変化する。会の基本的なコンセプトも変わるのでは...。お互いに考える事は多々有る様ですが変革期に遭遇する機会を楽むつもりです。折念諸兄御自愛。了(二〇〇五・六・一一)



業務課

永田 隆一

シルバーに入社以来、様々な業務の担当をまいりました。中でも、平成十三年度・十四年度と二年間、緑化（剪定・除草・薬剤散布・施肥）関係を担当した期間、無我夢中で仕事に取り組みました。

最初の十三年度、緑化事務の基盤作り、特に剪定・薬剤散布の事務基盤が皆無の状態に近く、会員の古川さん、中井業務係長（当時）と共に悪戦苦闘の毎日が続き、精神・肉体的に苦しい日々が続き、現在も鮮明に覚えています。暗中模索の中、三人で知恵を搾

り、通常業務と平行して、基盤づくりを行い、九月迄にはどうにか大雑把ではありますが体制を整え、十四年度には更に、細かい部分に至るまで構築する事が出来ました。

この期間中、緑化関係の会員の方には多大なご迷惑をお掛けしたにもかかわらず、励まし、勇気付けて頂いたことは忘れる事が出来ません。

現在は、家事援助サービス事業の担当をされており、業務の内容はこの時の経験を生かし、データづくりを行っています。お客様・会員の方にスムーズに紹介出来るよう、また、担当が交代した場合にでも、次の担当者やお客様に迷惑を掛ける事無く、その日から安心して業務を遂行出来るよう心掛けています。

業務課

岡野 誠

毎年、春になると「今年こそ、ダイエットして身軽に動くぞ」と思っていますが、意に反して体重は増えるばかり。

会う人ごとに、「太ったネ!」「貴様ついてきたな」と言われ、今さらながら、自分の精神面の弱さやもろさを痛感しています。肉体的にも精神的にも若さを保た

なければと思います。

それに比べると、会員の皆さんの元気・頑張りには、頭が下がる思いがします。暑い時も寒いときも我々職員には不平不満も言わず、一生懸命に仕事をされる。それがやはり、発注先の信頼をいただき、実績に結びついて、今日の当センターがあるのだと思います。

これまでの経験や能力を生かし、また、全く違った分野の仕事にチャレンジすることで、生きがいや喜びを感じてもらえるのが、シルバー人材センターです。

若い世代の人たちに、決してひけを取らない元気で仕事に対するひたむきさ、丁寧な仕事ぶり、高齢者の魅力ある姿を最大限にPRしていただきたいと思っています。

お客さまからも、そして会員の皆さんからも互いに喜んでもらえる仕事のコーディネートができた瞬間が一番うれしい時です。会員の皆さんに負けないよう、初心を忘れずに頑張っていきたいと思えます。これからも、どうぞよろしくお願ひします!

夏までに、3kgやせるゾ!

業務課

下村 進一

シルバー人材センターに在籍し

て、十七年目になります。

二年前から植木剪定・除草・薬剤散布などの担当を任せられ現在に至っております。

この仕事は天候に左右される事が多く、会員の皆様の日程とお客様のニーズとの調整が難しく苦勞しておりますが、会員の皆様にご協力をいただきながら、お客様に喜んで頂ける仕事が出来るところに心がけて日々頑張っております。

これからの季節、梅雨や台風などで日程の調整が更に狂うことが多くなりご迷惑をおかけすることが予想されます。また暑さなどから熱中症などにかかりやすくなったりと厳しい状況におかれることと思いますが、会員の皆様にはお体に十分気をつけるように注意を徹底し、お客様からご満足の頂ける就業が出来るように共に頑張ればと思っております。

まだまだ至らないところがあり、会員の皆様にはご迷惑をお掛けしていると思いますが、今後ともにご指導・鞭撻をよろしくお願ひ申し上げます。

また、シルバー人材センター発展のため日々精進していく所存でございます。

想いのたけを
ふみに託して…

俳句

咲き満てる中の静寂しじまや夕ざくら

(町田サクラ祭、全国俳句大会入選)

湧き水の砂の踊りも秋に入る

(巻頭句)

呻吟のオブジェとなりて枯れはちす

(入選)

寒月や投函のおと確かなる

(大会特賞)

ちぢれつつ大寒を這ふ鐘のおと

(入選)

(以上四句は俳誌「獅林」の主催等の選に入る)

須藤 みさを



賛助会コーナー

(株)イーパック (日出町)
(有)イーパック物流 (日出町)

(株)内田スプリング製作所 (千成町)

(株)大川歯車製作所 (庄内宝町)

大阪理研工業(株) (神州川)

(株)オカキン (原田中)

国産部品工業(株) (新千里東町)

岸岡企業(株) (庄内西町)

三栄源エフ・エフ・アイ(株) (三和町)

三和ビル(株) (庄内東町)

(株)エイティピー新大阪駅内支店 (大阪市淀川区)

庄内神社 (庄内幸町)

正光山浄行寺 (走井)

白石薬品(株) (東大阪市横枕)

摂津水都信用金庫 (茨木市西駅前町)

(株)太鼓亭 (箕面市稲)

(社)福豊中市社会福祉協議会 (中桜塚)

仏光山如来寺 (箕輪)

ホテルアイボリー (本町)

丸太食品(株)関西特販部 (大阪市西成区)

やまかつ(株) (大阪市北区)

(株)湯山製作所 (名神口)

(株)渡辺製作所 (名神口)

(五十音順)

同好会だより

書道同好会

第12班 杉村和美

書道同好会へ精進何よりうれしく楽しく存じました。何にも増して日頃の練習の成果だと思えます。充実した日々の御反映を感じつつ、これも偏見に先生方初め先輩の方々の細やかで熱心なる御指導に感謝しながら微力ながら頑張つて、皆さんと仲よく同好会での出合いを大切に行きたいと思えます。

仲よき事はは美しき哉

勉

第2班 森藤 勉

白い花が咲いたよ

久美子書

第3班 高橋久美子

林屢焚燬以

乙酉年

辛男書

第3班 島崎 幸男

竹邊不知暑

平成十七年 七夕

滋子書

第4班 多田 滋子

月夜花火

秀子書

第6班 滋市秀子

ハイキング同好会

古代ロマンの道

第13班 羽生恵光



山の辺の道は日本最古の道として知られている。大和盆地の東の山裾を南北に、桜井より天理へ約十六km、のどかなハイキングコースとして整備されている。

近鉄桜井駅から山の辺の道を目指して進むと、前方にこんもりとした山が三輪山。

田畑を抜け、平等寺から大神社(三輪明神)へ。神秘的な趣を感じる深い木立の中を玉砂利を踏みしめながら進んで行く。

三輪山を御神体としているので神殿というものは無く、正面に三ツ鳥居を立て、その手前の拝殿から直接山を拜むようになってい。またここは三輪山登山口でも

あり、約一時間三十分で頂上まで往復出来るとのこと。

道は自然道に変わり、一面の菜の花畑やれんげの岡をのんびり歩く。大和三山が一望できる大美和の社に着く。

小川沿いに細い山の端の道をしばらく行くと、檜原神社がある。

境内は広々として展望もよく素晴らしい。気持ちのよい山の辺の風景を楽しみながら山裾の道をたどる。景行天皇陵の池と崇神天皇の陵を横に見ながら、根上がり

の松を見上げ、長岳寺を知る。夜都岐神社を過ぎ、柿やみかんの畑を通って最後に急な坂道を登りきると、深い樹木に包まれた日本最古の神社・石上神宮に着く。

朱塗りの楼門を行くと国宝の拝殿が立つ。拝殿奥には勾玉や管玉などが出土した禁足池などがある。

毎年一月十五日には境内で「ぜんざい」が頂ける。

農道の無人屋台で買物をしたので、デイバッグが重くなり、帰路が大変とぼやく会員さんもいました。天理教本部の大きな建造物を右手に見上げ、天理本通りの長いアーケードの商店街に向かう。

駅まで二十分の距離です。



囲碁同好会

第3班 梶浦武彦

本年の新春囲碁大会は会場の都合でなかなか開催できず、ようやく三月十九日に開催の運びとなりました。

会場は例のごとくとよなか国際交流センター一階の桜塚自治会館(和室)をお借りして、参加者各四局の対局結果により勝山氏と小波氏が四戦四勝となり、優勝決定戦を行って頂き、最終的に勝山氏の優勝、小波氏の準優勝が決定致しました。優勝、準優勝の各氏は次回より段級位を一つ上げて参加して頂くことになっております。

次回の大会は夏期七月末頃を予定しておりますので、会員各位のご研鑽をお願い致します。

テニス愛好会

第13班 藤田泰通

テニス愛好会に外国の客人をお迎えた。と云ってもわずかに数時間の出発事ではあるが。

メンバーの一人芦田悦雄君が嘗て中国内蒙古に勤務した時の友人朝格宝音さんを春節(中国の正月)の休暇に自宅に招かれた際、その内の半日朝さんがゲームに参加されたのである。朝さんは四十歳台半ば、お仕事は中学校副校長との事。そのプレーは中々俊敏・

確實、二時間があつと云う間に過ぎて行った。プレー後ピールの杯

を傾けながら彼の地の事などいろいろ伺った。日常会話には差し支えない位日本語もお上手。例えば彼は大学で日本語を選択し二年間学んだが卒業後十五年間全く日本語は使わなかった。ところが日本人(即ち芦田君)との偶然の出会いから日本語を思い出して話していると聞いて、一同その記憶力に敬服した次第。また蒙古族は日本人にとっても近親感を持って先祖は同じだと思っているとか。日中間の関係がしっくりしない中で中国の少数民族の方との交流が出来、誠に意義ある数時間であった。帰国後芦田君に寄せられた手紙をお借りして御紹介したい。

「日本の旅行でテニスができるとは思いつけなかったことでした。

を傾けながら彼の地の事などいろいろ伺った。日常会話には差し支えない位日本語もお上手。例えば彼は大学で日本語を選択し二年間学んだが卒業後十五年間全く日本語は使わなかった。ところが日本人(即ち芦田君)との偶然の出会いから日本語を思い出して話している

と聞いて、一同その記憶力に敬服した次第。また蒙古族は日本人にとっても近親感を持って先祖は同じだと思っているとか。日中間の関係がしっくりしない中で中国の少数民族の方との交流が出来、誠に意義ある数時間であった。帰国後芦田君に寄せられた手紙をお借りして御紹介したい。

を傾けながら彼の地の事などいろいろ伺った。日常会話には差し支えない位日本語もお上手。例えば彼は大学で日本語を選択し二年間学んだが卒業後十五年間全く日本語は使わなかった。ところが日本人(即ち芦田君)との偶然の出会いから日本語を思い出して話している

と聞いて、一同その記憶力に敬服した次第。また蒙古族は日本人にとっても近親感を持って先祖は同じだと思っているとか。日中間の関係がしっくりしない中で中国の少数民族の方との交流が出来、誠に意義ある数時間であった。帰国後芦田君に寄せられた手紙をお借りして御紹介したい。

を傾けながら彼の地の事などいろいろ伺った。日常会話には差し支えない位日本語もお上手。例えば彼は大学で日本語を選択し二年間学んだが卒業後十五年間全く日本語は使わなかった。ところが日本人(即ち芦田君)との偶然の出会いから日本語を思い出して話している

と聞いて、一同その記憶力に敬服した次第。また蒙古族は日本人にとっても近親感を持って先祖は同じだと思っているとか。日中間の関係がしっくりしない中で中国の少数民族の方との交流が出来、誠に意義ある数時間であった。帰国後芦田君に寄せられた手紙をお借りして御紹介したい。

を傾けながら彼の地の事などいろいろ伺った。日常会話には差し支えない位日本語もお上手。例えば彼は大学で日本語を選択し二年間学んだが卒業後十五年間全く日本語は使わなかった。ところが日本人(即ち芦田君)との偶然の出会いから日本語を思い出して話している

と聞いて、一同その記憶力に敬服した次第。また蒙古族は日本人にとっても近親感を持って先祖は同じだと思っているとか。日中間の関係がしっくりしない中で中国の少数民族の方との交流が出来、誠に意義ある数時間であった。帰国後芦田君に寄せられた手紙をお借りして御紹介したい。

を傾けながら彼の地の事などいろいろ伺った。日常会話には差し支えない位日本語もお上手。例えば彼は大学で日本語を選択し二年間学んだが卒業後十五年間全く日本語は使わなかった。ところが日本人(即ち芦田君)との偶然の出会いから日本語を思い出して話している



老人のテニスクラブと聞きましたが、皆さんが若々しくて上手なのに驚きました。中でも七十七歳の方の様子を見てとても信じられないと思います。テニスの後で皆さんと交流もできて、とても感謝しています。ありがとうございました。(後略) (芦田訳)

写真同好会

西 宏樹

同好の方々が集まり、例会を続けて早や一年となりました。また会員も二十三名となり、例会も、撮影会・懇親会・親睦会・作品品評会などと続けてきました。

昨夏には万博公園のハスの花を撮りにいき、又鶴見緑地公園のコスモスや咲くやこの花館の世界の珍しい花を撮影しました。秋にはみのお公園で滝と紅葉をとり、十二月には服部緑地公園の清掃ボランティアに参加し、今年に入りまずと三月に大阪城公園の観梅と撮影会、四月には服部緑地公園の満開のサクラ撮影会など行ってきました。その間には忘年会・新年会を、それに大事な作品鑑賞会・批評会などと、すすめてきました。

今年には会員の皆さんの希望が多いものですから少し遠くまで足をのばして旅行をかねた撮影会の計画などと相談しております。

美術サークル

第1班 山階康雄

今回は趣向をかえ、服部緑地公園にてスケッチ。国指定重要文化財の民家野外博物館に、入場料一人¥五〇〇を払い、十名程が見学を兼ねてスケッチとなる。門を右側の部屋で、テレビによりすべての概要の説明、二十分程。(日



本各地の代表的な民家を移築復元し、昭和十三年に設置されたところ。博物館内も結構広くひと通り見学してそれぞれ好みの場所にてスケッチに入る。かなり時間も経過し、書きはじめてまもなく昏くなる。静かで人通りもなく、木陰を探し思い込めて一軒の家を絵にするが、思う様にいかない。家の中に入って見ると半世紀前の風景を思わせる土間、カマドがあり、たまたま中年の女性が、カスリのモンペ姿で薪を入れカマドでお湯を沸かしていた。部屋中に煙がたちこもっている。思わずシャッター

を連続して切る。絵になると思ったからだ。柱は黒びかり、天井は高くひんやりしている。結構居心地が良い。時の流れがとまった様だ。昔母親がカマドに薪で炊事をしていた時代を思い浮かべさせる。新緑に囲まれた藁ぶきの家、小さな庭があり、それぞれに花や野菜を育てている。縮小された昔の日本、平和な日本を象徴しているかの様である。それぞれ完成した絵を見くらべる。個々に違った見方をしているが、個性豊かな一枚の絵になつていた。

帰り出口でウメーK¥二〇〇也で売っている『これは安い市価だと¥一〇〇〇位するで…』声にさそわれ小生も勝手に袋に入れる。計って見ると一・五K。店主がまけとくわ。一Kの値段で氣を良くしビニール袋にウメを入れぶらさげて帰途につく『来月はくらしかんやで、氣を付けて帰えりや…』
楽しい一日が終る。



編集のしおり

*平成十六年度の通常総会も、豊中市長の出席を得て、無事終了致しました。

*この八月で戦後六十年になります。六十年間日本は戦争の無い日々を過ごしてきました。近年この平和を脅かしかねない動きが目に目立ってきました。

*戦中戦後を知る私達こそがこの平和を日本のみならず世界に広げていく義務があるのではないのでしょうか。この六十年間私たちは有り余る物資のうちに埋もれ、その間様々な弊害を生み出して、豊かな生活を享受してきました。

*そのような過去を振り返ってみますと、今や自他ともに改革が求められているように思います。

*私達「ふれあい」の編集委員会も新メンバーを加えて、少しでも新しい内容に生まれ変わるように勤めていきたいと思っています。

*会員のみなさんのご投稿、ご寄稿を期待します。

(S・O)

「生徒さんに元気をもらっています」 絵画教室

第8班 佐藤 アツ

六月八日(水)午後、上野兔川自治会館(豊中市上野東二の十八の七)を訪ねました。出迎えて下さったのは会員で二科展入選の実績を持つ絵画教室の伊藤法子先生。中では五人の生徒さんが熱心に筆を執っていました。小学二年生の大畑まりえさん、吉井ももかさん、大澤かな子さん、そしてシ



私は「ふれあい」帽子

ニアの鵜川美智子さんと坂倉恵美子さん。この日は小学生一人が欠席のようす。

当センターの独自事業として昨年八月に発足、毎月二回、第二・第四水曜日二時～五時に開いている絵画教室です。当初は月一回でしたが要望により小学生だけ二回になったそうです。謝礼が一回五〇〇円とは何とリーズナブルなこと!!。

小学生の三人は、チューリップ、タンポポ、木、犬、バツクに虹のクレヨン画です。鵜川さんはサクラクレパス六十色を前に、カラー写真からサンスベリアを写生、坂倉さんは三十色の絵の具で、桃山公園の風景画に取り組んでいます。

シニアの二人は絵を描きたいと言う長年のおもいを今やっと実現できたようで、その喜びが私にも伝わってきました。

子どもたちにとっても、表現力を培い情操を高める良い機会ではないでしょうか。

センターからこのお話が来た時、伊藤先生が一番に思ったことは、「社会の高齢化が進む中、地域の籠り切り老人を増やさないよう役立てるのではないか」ということでした。しかし単なる井戸端会議的な集まりを期待して来た



人たちは去ってしまつて「本当に描くことが好きな二人が残っています」と。そして、「今は生徒さんに私の方が元気をもらっています」。

伊藤先生は自らも六十の手習いで太極拳と卓球を始めたそうです。ドレッシーナ装いと

柔らかなものいい。「会場費がまかなえればいいと思つています」とさりげなくおっしゃる姿に、シルバー人材の一つの在り方を見たおもいでした。

図らずもシニアの三人が同じ亥年生まれと分か

り、驚くやら喜ぶやら……。『亥年生まれが三人いると栄える』そうですから。
絵を描いてみたいおもいのある方、子どもの表現力や情操を豊かに育てたいと思うお母さん、子どもさんも一緒に一度絵画教室をのぞいてみてはいかがでしょう。

